



湖北

「山本山のおばあちゃん」で知られるオオワシのファンミーティングが3月22日、長浜市湖北町今西の湖北野鳥センターで開かれた。熱烈なオオワシファン2人がその魅力や越冬の様子などを発表した。山本山オオワシファンクラブ主宰の杉山淳さん(62)はオオワシの魅力をユーモアいっぱいに語った。来場者にも魅力を問うと、「圧倒的なオレンジ色のくちばし」「鳴き声がかわいい」「背中が好き」

など、次々に声が挙がった。連日撮影に訪れた青山暢之さん(62)はオオワシの行動を分析し、狩りの多くは午前9時〜正午だったなどと解説した。また、今季はオオワシが北帰する際、ファンが見送る位置と反対方向に飛び立つため、「さよならも言えず、本当に寂しかった」と述べ、「オオワシが自然を見る喜びや生命の力強さを教えてくれた」と締めくくった。



大勢の愛鳥家が集まったオオワシファンミーティング

長浜

「おばあちゃん」を大いに語る オオワシファンミーティング

散策マップ「SLOW TRIP」

商議所と豊臣博事務局

長浜

長浜商工会議所と北近江豊臣博覧会事務局がまちなか散策マップ「SLOW TRIP」(スロートリップ)を発刊した。長浜市街地の各商店街や長浜駅周辺の小売・飲食の計約120店を紹介している。現在放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟!」の放送に合わせて北近江豊臣博覧会が開かれており、観光客増が見込まれるため企画した。店舗紹介に加えて、黒壁スクエア周辺の観光スポットや同博覧会の見どころを盛り込んだ。戦国武将・姫の「飛び出し坊や」の配置図も掲載している。同商議所は「観光客のまち



まちなか散策マップ「SLOW TRIP」

なか回遊を促進すると共に、店舗への来店につなげ、地域全体のにぎわい創出を図る」としている。全45ページ。A5。初版は1万部作製。市内の観光案内所やホテル、掲載店、同博覧会会場などで無料配布している。【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

放流ウナギ 琵琶湖でスクスク 県立大など論文発表



琵琶湖で漁獲された1kg以上の大型ウナギ

県立大(彦根市八坂町)と県水産試験場、近畿大の研究グループは琵琶湖に養殖ウナギを放流するとよく育つことを明らかにした。関連論文が3月、日本水産学会の国際誌のオンライン版に掲載された。研究グループは琵琶湖に放流する前の養殖ウナギと、琵琶湖で漁獲されたウナギを調べたII写真、県立大ホームページより。その結果、前者の多くは雌雄決定前の成長段階(30センチ未満)で、大きな個体はおおむねオスだった。

た。一方、後者は主に40〜80センチで、すべてメスに分化していた。琵琶湖へ放流後の養殖ウナギの成長速度は、他水域の天然ウナギと比較しても良好であることが分かった。また後者の一部は、産卵親魚である銀ウナギに類似した特徴が確認された。琵琶湖のような湖沼が養殖ウナギを大型のメスに育成できる場となり、完全養殖につながる可能性も示唆しているという。【彦根通信部・伊藤信司】

ひこにゃんウイスキー再び

長濱蒸溜所「アマハニャン」

彦根



彦根市の人気キャラクター「ひこにゃん」をあしらったウイスキーの第2弾が登場した。名付けて「アマハニャン シェリー&桜カスクブレンド」II写真。長濱蒸溜所(長浜市)を代表するウイスキー「AMAHANYAN」(アマハニャン)の関連商品だ。第1弾で好評だった桜樽の華やかな香りに、シェリー樽由来の濃密な甘みを融合させた。容量200ミリリットルで2000円(税別)。県内土産店、長濱浪漫ビール店頭などで入手できる。同蒸溜所は「柔らかく甘い桜の香りと、シェリー樽由来のラムレーズンや黒蜜、熟したイチジクを思わせる濃密な甘い香りが広がります。口当たりは優しくなめらか。桜餅を思わせる和菓子のアクセントに、三色団子をほおばった後のような穏やかで優しい余韻が続きます」とPRしている。【彦根通信部・伊藤信司】